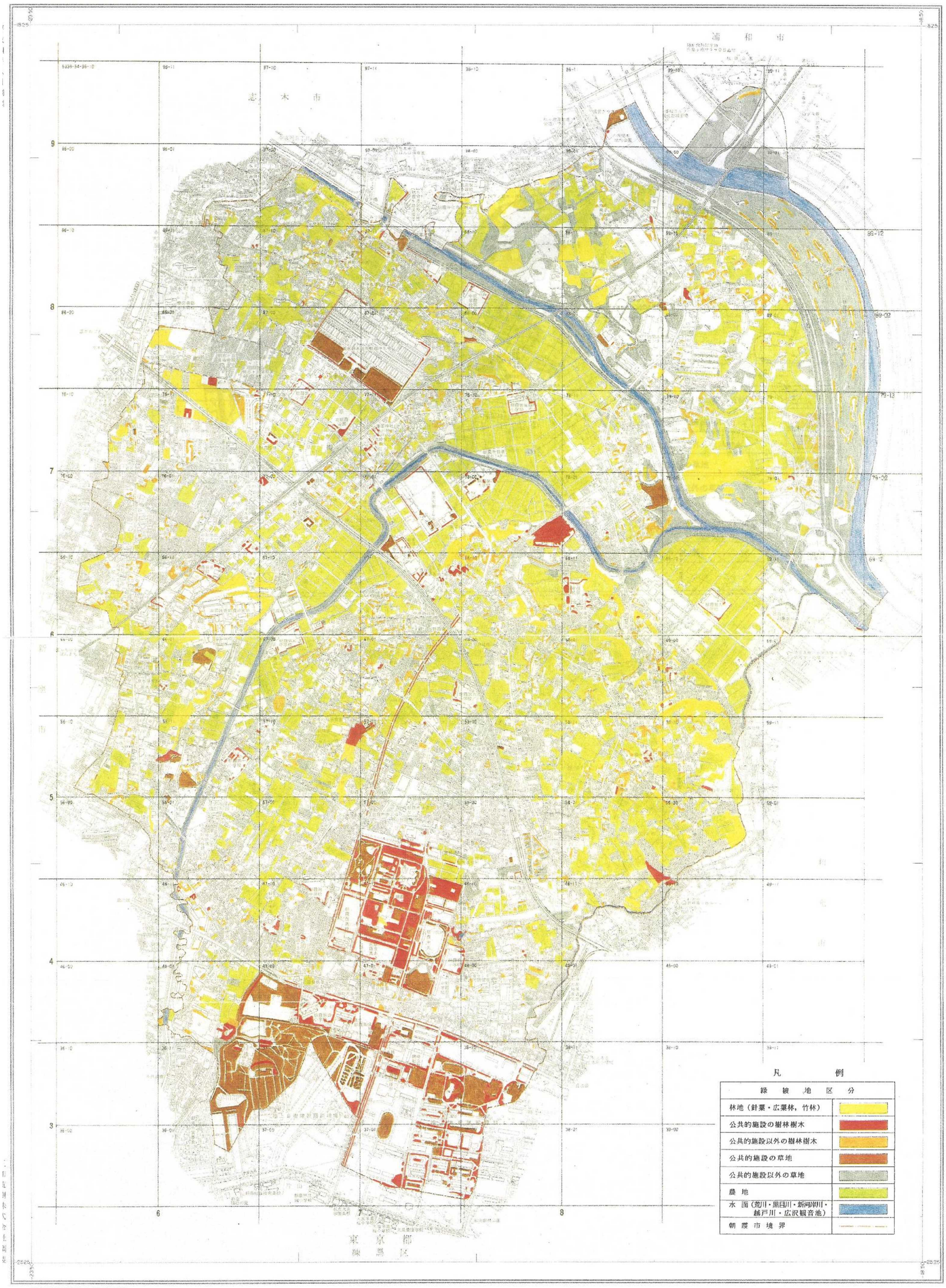
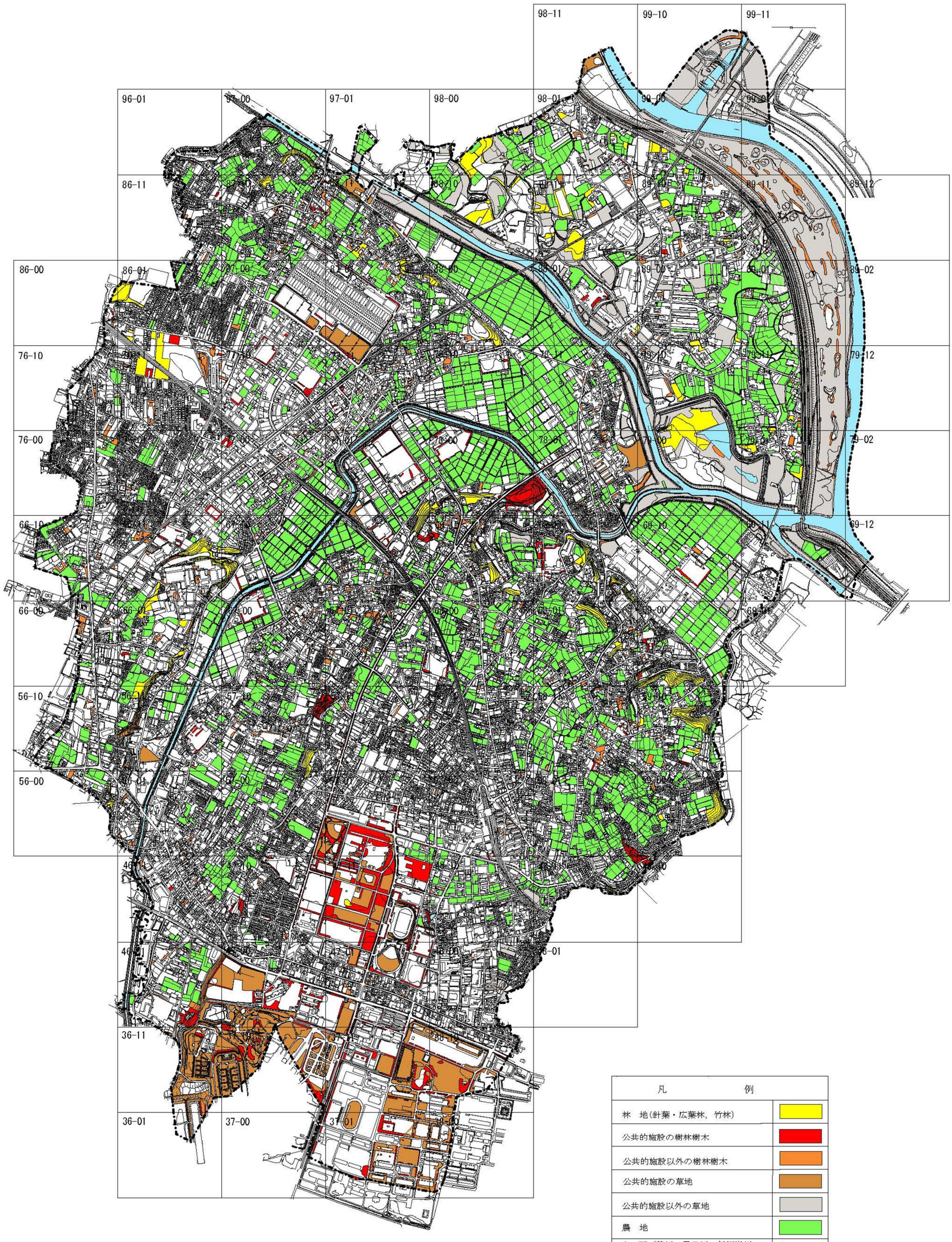
朝霞市緑被マップ　平成4年



平成4年8月作成の1:2,500を縮小編集

朝霞市緑被マップ

平成15年



凡　　例	
林　地(針葉・広葉林，竹林)	
公共的施設の樹林樹木	
公共的施設以外の樹林樹木	
公共的施設の草地	
公共的施設以外の草地	
農　地	
水　面（荒川・黒目川・新河岸川・越戸川・広沢観音池）	
朝霞市境界	

1:10,000

朝霞市緑被マップ

平成20年

1:20,000

朝霞市緑被マップ

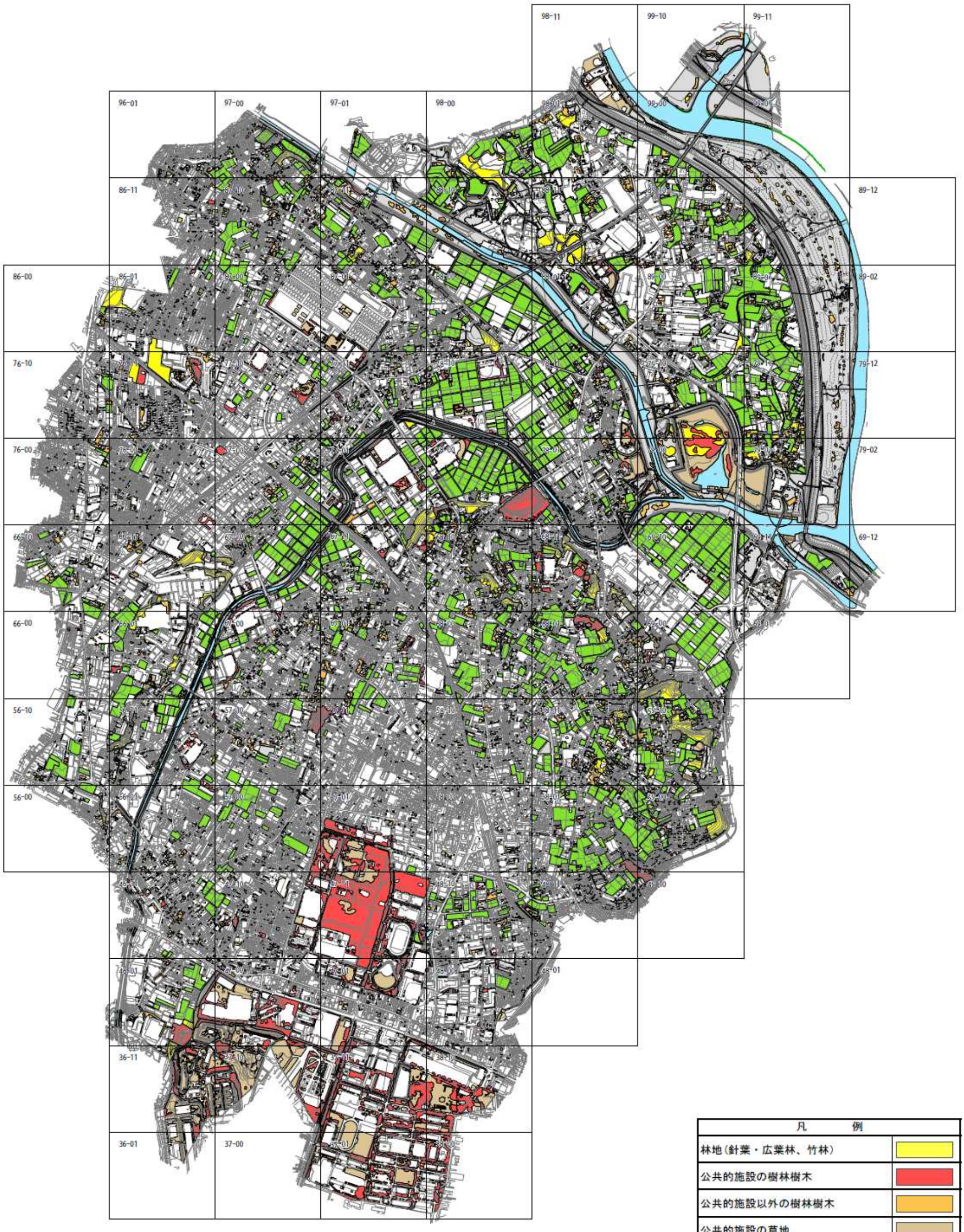
平成25年

1：20,000

凡　　例	
林地（針葉・広葉林、竹林）	
公共的施設の樹林樹木	
公共的施設以外の樹林樹木	
公共的施設の草地	
公共的施設以外の草地	
農地	
水面（荒川・黒目川・新河岸川・越戸川・広沢観音池・朝霞調整池）	
朝霞市境界	

朝霞市緑被マップ

平成30年



1：20,000

凡　　例	
林地（針葉・広葉林、竹林）	
公共的施設の樹林樹木	
公共的施設以外の樹林樹木	
公共的施設の草地	
公共的施設以外の草地	
農地	
水面（荒川・黒目川・新河岸川・越戸川・広沢観音池・朝霞調節池）	
朝霞市境界	

(2) 緑被率

① 市域の緑被率の現況及び経年変化

平成 30 年の朝霞市の現況の緑被地面積は、6,619,932 ㎡（緑被率 36.10%）であった。緑被率は、昭和 48 年から平成 20 年にかけて減少し、平成 25 年には 37.54%に上昇している。原因として、平成 20 年までは対象とする面積が 25 ㎡だったが、平成 25 年からは対象とする面積が 10 ㎡となり、より詳細な緑を抽出することが可能となったことから、緑被率が上昇したものと考えられる。

しかし、平成 30 年は平成 25 年と比較し、1.44%減少している。これは、社会情勢の変化に応じて緑地の量としては減少しているものと考えられる。

表 3-1　市全体の緑被地面積及び緑被率の経年変化

	昭和 48 年	昭和 53 年	昭和 58 年	昭和 63 年	平成 4 年
緑被地面積（㎡）	9,112,798	7,866,824	7,934,864	7,286,355	7,211,697
緑被率（%）	49.75	42.95	43.32	39.78	39.37

	平成 15 年	平成 20 年	平成 25 年	平成 30 年
緑被地面積（㎡）	6,139,500	6,107,178	6,899,751	6,619,932
緑被率（%）	33.52	33.34	37.54	36.10

※昭和 48 年から平成 20 年までについては、総面積を 18.317 k ㎡として緑被率を計算した。
平成 25 年は総面積を 18.38k ㎡、平成 30 年は 18.34 k ㎡で緑被率を計算した。
なお、平成 30 年の総面積を 18.38k ㎡で計算すると、緑被率は 36.02%となる。

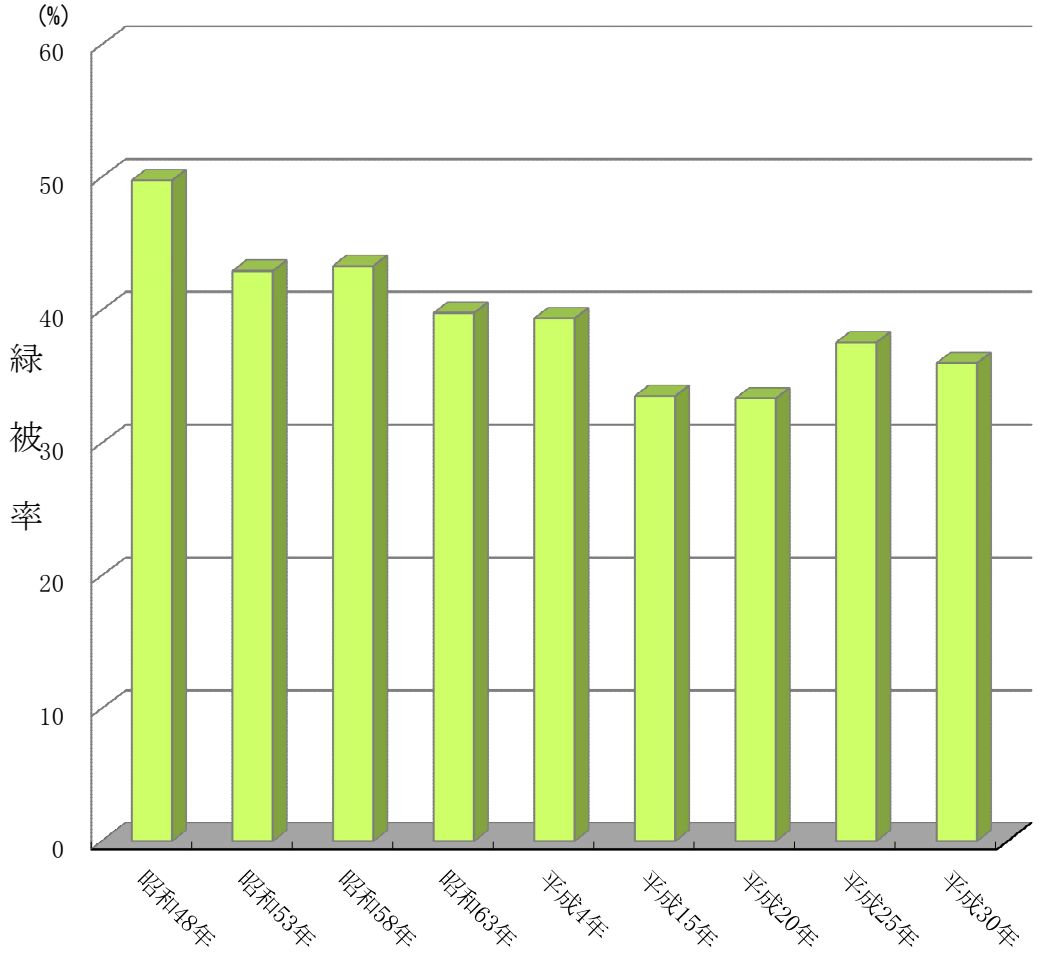


図 3-1　市全体の緑被率の推移